

南海トラフ地震について

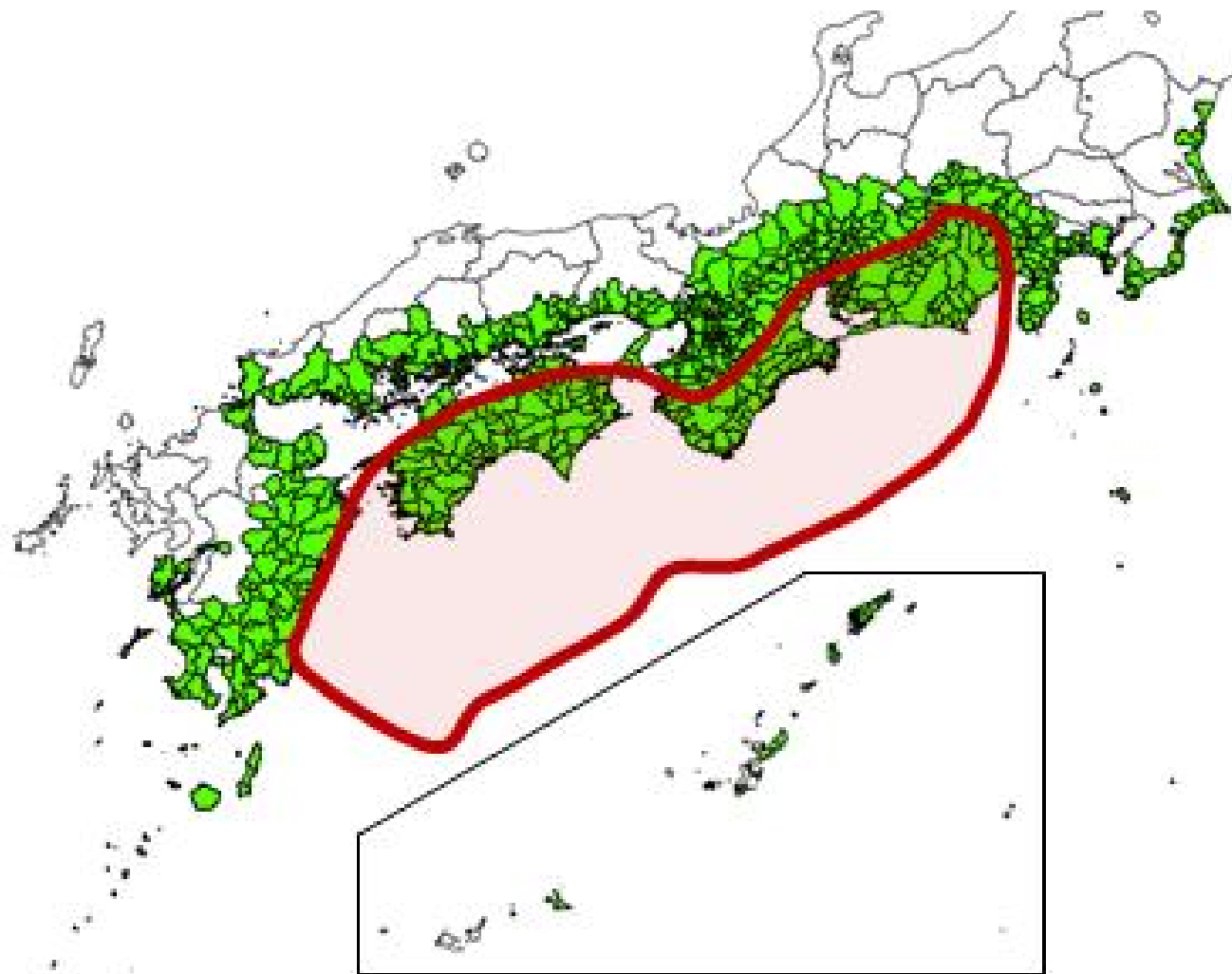
～令和元年 6 月内閣府政策統括官（防災担当）報告を活用～

豊川保健所

南海トラフ地震の歴史

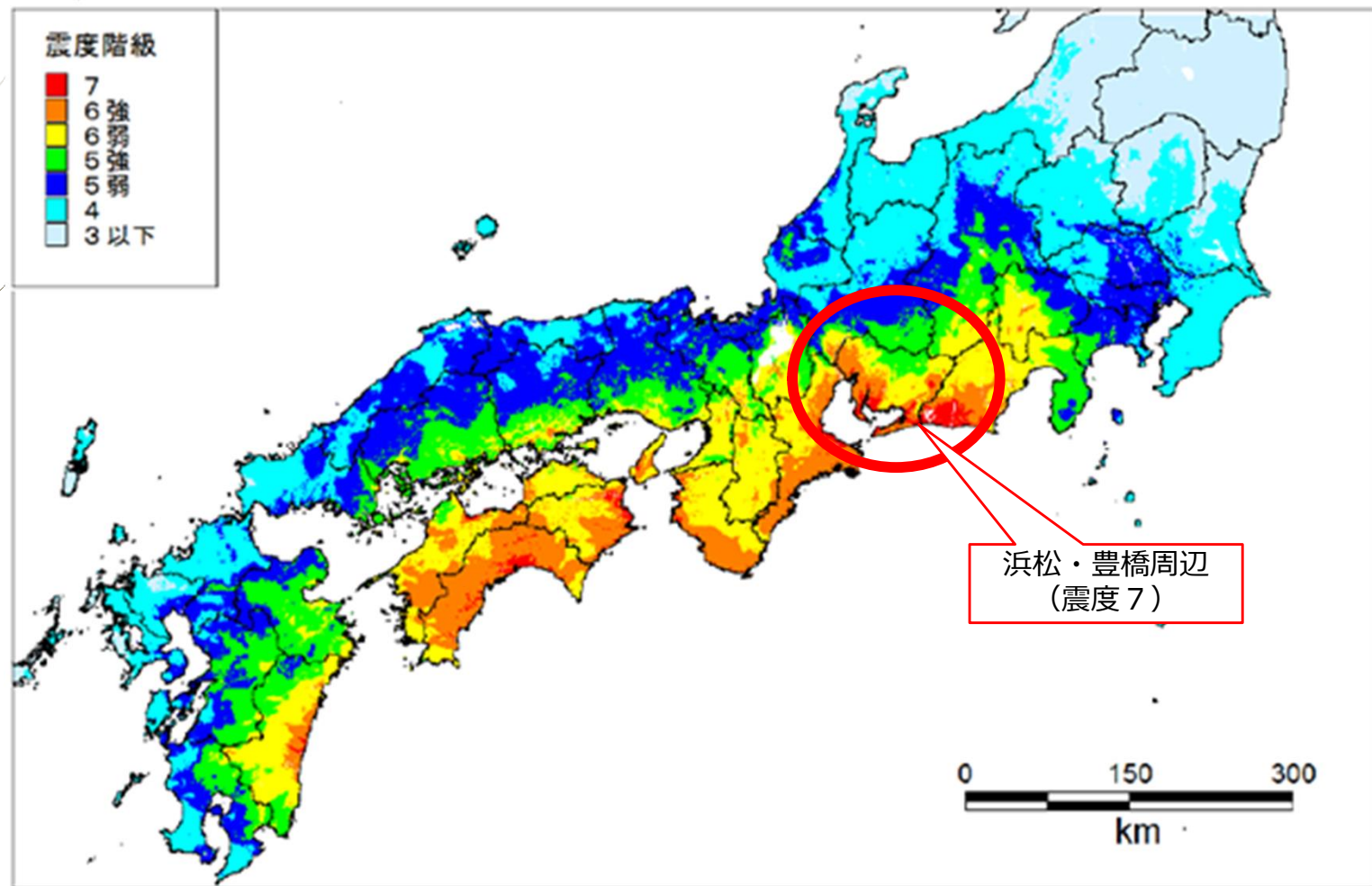
○ 宝永地震（1707年10月28日） 49日後 富士山噴火	M8.0		約150年
○ 安政東海地震（1854年12月23日） ○ 安政南海地震（1854年12月24日）	M8.4 M8.4	約30時間後	
○ 昭和東南海地震（1944年12月7日） ○ 昭和南海地震（1946年12月21日）	M7.9 M8.0	約2年後	約100~150年
○ 令和東南海地震（20XX年X月X日） ○ 令和南海地震（20XX年X月X日） ※ 東日本大震災 M9.0	M9.0 M9.0	同時発生？	

南海トラフ地震防災対策推進地域 (気象庁)



南海トラフ地震震度予想

(気象庁)



南海トラフ地震津波予想 (気象庁)



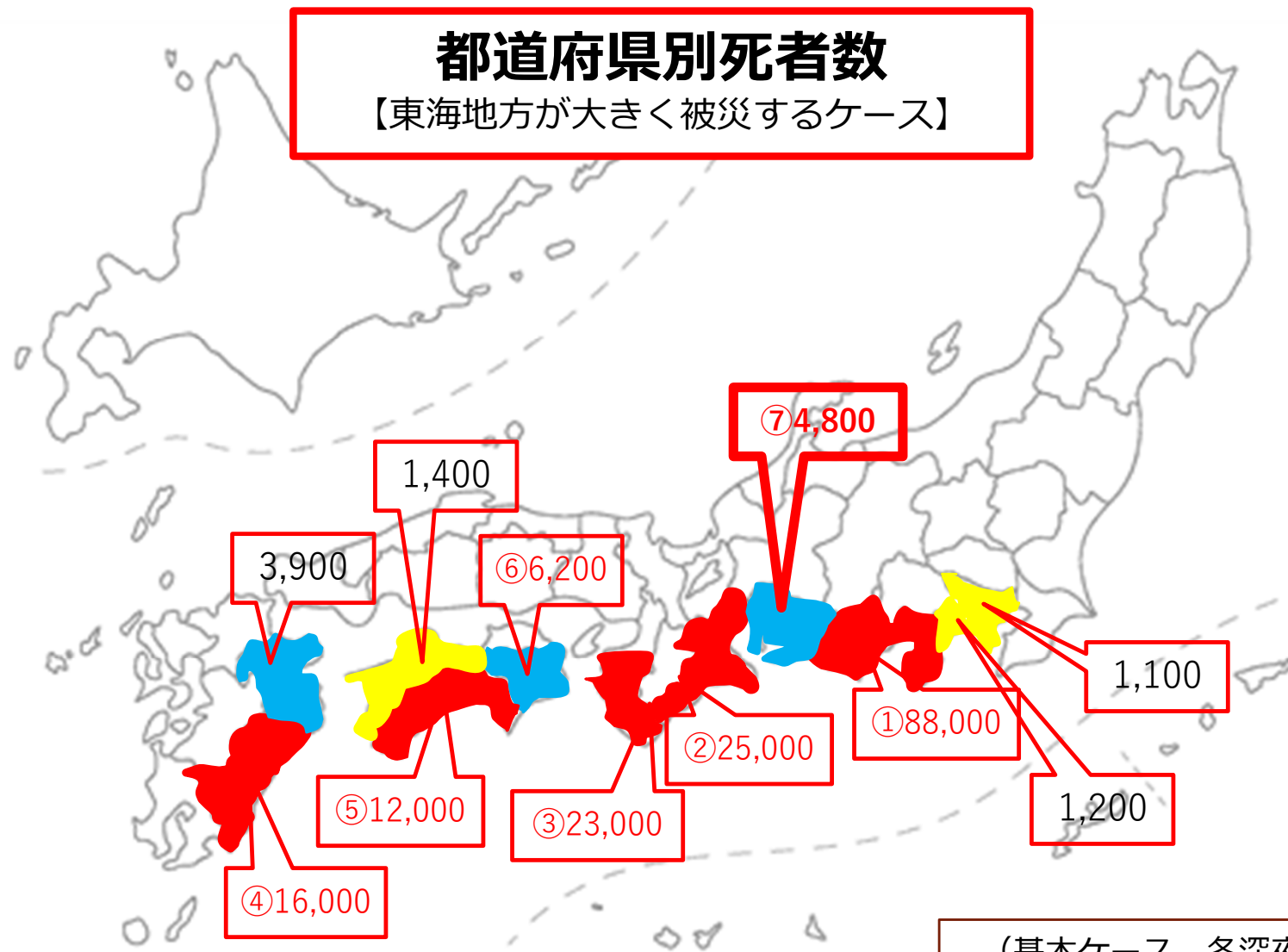
南海トラフ地震被害予想

(令和元年6月内閣府政策統括官(防災担当)報告より)



都道府県別死者数

【東海地方が大きく被災するケース】



(基本ケース、冬深夜、平均風速)

南海トラフ地震による全国の被災想定

(20都府県：死者数100人以上)

東日本	中部	西日本	九州・四国
千葉県	山梨県	大阪府	徳島県
東京都	静岡県	兵庫県	香川県
神奈川県	愛知県	奈良県	愛媛県
	三重県	和歌山県	高知県
		広島県	大分県
		山口県	宮崎県
			鹿児島県

死者が10人以上想定される都道府県数：26



重症患者、中等症患者、軽症患者は「死者数」の何倍も発生する。